

あ ら た う

会長



公益財団法人岩手県体育協会

会長 達増 拓也

平素より当協会の事業に対し、格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
また、国内最大のスポーツの祭典「第71回国民体育大会」の開催に当たり、御支援、御協力を頂きましたことに深く感謝申し上げます。

空は高く澄みわたり、時折そよぐ風が爽やかに感じる10月1日、天皇皇后両陛下の御臨席の下、北上総合運動公園北上陸上競技場において第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」総合開会式を開催いたしました。

式典では、「希望の郷から、ありがとう」のテーマの下、未来に向かって進んでいく岩手の姿や伝統を全国の皆様に発信することができました。

各都道府県団旗が色鮮やかにひるがえり選手団が力強く行進し、最後に、岩手県選手団が入場してきた時のスタンドの歓声とバルーンスティックによる反響音は、今まで体験したことがないほどの大きさでした。

そして、リオデジャネイロ五輪代表の高橋英輝選手と北京五輪代表の小沢みさき選手による選手宣誓は、参加選手、そして国体に携わった全ての岩手県スポーツ関係者の思いを伝えるものでした。

本県は、天皇杯順位第2位に躍進し、目標を達成することが出来ました。選手、監督、関係者が地域や学校の枠を越えて、「チーム岩手」として、仲間を信じ、最後まで絶対にあきらめず、郷土のために全力を尽くす岩手県選手団の姿を私は生涯忘れることはないでしょう。

希望郷いわて国体の準備や開催に、県、会場地市町村が一丸となり「オール岩手」で取り組んだ「岩手の姿」は、県民に勇気と希望、感動を届けるとともに、これまで御支援をいただいた多くの皆様に、感謝の気持ちを伝えることができたと思います。

2019年には、釜石市でラグビーワールドカップが、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。スポーツが生み出す感動や、復興に向かって力強く前進する姿は、岩手・東北から全国、そして世界へと伝わっていくと確信しています。

そして、本協会は、この国体で培った競技力を維持し、進化させ、来年以降の国体、あるいは2020年に開催される東京オリンピックなど、世界で活躍が期待される選手を輩出できるよう、一層の育成強化に努めてまいります。

皆様からのこれまでの御支援に心から感謝申し上げますとともに、役職員一同、本県のスポーツ振興に一層取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます、挨拶いたします。